

治水緑地わくわくDAYのお知らせ

日 時：令和4年10月23日(日)
9時30分～15時30分
※雨天中止

場 所：打上川治水緑地
参加費：無料(※有料プログラムあり)

実施プログラム：

「親子で楽しむおそとひろば」～巨大パラバルーンで遊ぼう～
「ヤーンボミング」～青空の下で編み物を楽しもう～
「わらべうたであそぼ！」親子で楽しむわらべうた
「わらべうたであそぼ！」集団で楽しむわらべうた
こかげで絵本、打上川はじめてヨガ、自然観察
その他に、キッチンカーの出店も予定しています。

前日の10月22日(土)9:00～、お掃除イベントも開催します！

「治水緑地わくわくDAY」は、治水緑地でやってみたかったあんなこと、こんなこと、わくわくするような楽しい取り組みを実験的にやってみるイベントです。

詳しくは特設サイトをご覧ください。



2022年9月11日(日)

第4回【管理運営】治水緑地の管理運営に参加しよう！

寝屋川市では、令和3年(2021)6月に『都市公園等再編整備基本方針』を公表し、「訪れたい」「利用したい」「集めたい」空間の創出を目指しています。打上川治水緑地については、その中でも重要な公園の一つに位置づけこれからの治水緑地のあり方や整備・管理運営の方策を取りまとめる『打上川治水緑地パークマネジメントプラン(仮称)』の検討を進めています。

そこで、打上川治水緑地の魅力向上と利用活性化を目指し、ワークショップがはじまりました。

第4回ワークショップでは14名が参加し、「【管理運営】治水緑地の管理運営に参加しよう！」をテーマに、活発な意見交換が行われました。ニュースレターNO.4ではその様子や結果をお伝えします。

第4回ワークショップの内容

振り返り

第3回目アンケート結果
【再整備】打上川治水緑地の
ランドスケープデザイン

グループワーク

話し合い①

治水緑地の管理運営で
やりたいこと

話し合い②

もっと仲間を集めよう

会場MAP



治水緑地の管理運営でやりたいこと

「治水緑地の管理運営でやりたいこと」では、維持管理と運営管理における様々な意見が出ました。

運営管理

自然プログラム

- ・自然観察会
(定期的な開催/小学生向け講座)
- ・自然地図/季節毎のポイント作成
- ・ウォークラリーで小中学生自然クイズ大会
- ・どんぐり預金
- ・バッタのオリンピック
- ・野鳥の木人形、アクセサリーづくり



学びプログラム

- ・治水緑地の防災の役割、大事さを学ぶ
- ・移動図書館などの出張図書館
- ・本の貸出し

プログラム開催方法について

- ・プログラムを周知し、定期開催につなげる
- ・管理棟内で資料の閲覧から、ミニ講座開催

利用ルール

- ・プログラム提供をしやすくする
- ・プログラム後、掃除を行うルールづくり

子育て支援プログラム

- ・大学生ボランティアによるプレーパーク
- ・水遊びタイム
- ・乳幼児～小学生の居場所づくり
- ・乳幼児親子と高齢者が会える場所づくり
- ・親子でお散歩や観察、外遊びをしながら相談等も聞く「つどいの広場」
- ・和風づくり飛ばし
- ・紙ヒコーキ飛ばし
- ・わらべうたであそぼ!



イベント

- ・草刈りイベント後、軽食会実施
- ・防災教室イベント
- ・単発の掃除イベントは、みんなが楽しめるイベントと組み合わせることで参加するのではないかな

広報

- ・イベントを定例化し、周知する
- ・治水緑地の普段の様子を発信する
- ・やりたいことがある人に情報を届け、治水緑地の需要を確かめる

地域連携・交流

- ・地域の色々な課題をつなぐ場
- ・寝屋川/枚方/交野で連携し、防災学習の拠点にする
- ・お困りごと相談の継続実施
- ・達人の方との交流
- ・お話し会



ボランティア

- ・植栽管理のボランティア集め
- ・花好きを集め、花壇づくりのボランティアグループ作成

安全管理

- ・見守り隊は安全向上に繋がるが、名前から義務感が出る
- ・水遊びを使つての見守り
- ・LINE や問い合わせフォームなど、施設の不備等を通報するシステムの作成
- ・現状のまま散歩したい

維持管理

植栽管理

- ・自然を感じる除草
- ・生き物にやさしい公園づくり
- ・ばら園管理
- ・樹木に個人名やニックネームをつけ、愛着を持ってもらい、見守れるようにする

建物管理

- ・展示/スペースがほしい
- ・寝屋川の歴史を伝える等の講座ができる会議室が必要



施設管理

- ・芝生広場のモニュメント名を公募で決定

清掃

- ・定期的なクリーンリバー
- ・池や川のクリーンデイ



もっと仲間を集めよう

「もっと仲間を集めよう」では、「声をかける」「イベントで集める」「情報発信する」「仕組みをつくる」といった意見が出ました。



連携先

既存イベントの継続

- ・興味をひくイベントの実施
- ・イベント参加を、その後につなげる
- ・参加を促すため日程を決める
- ・既存イベント(寝屋川まつり/おやじの会/農業フェスタ/エンジョイフェスタ/エコフェスタ)との連携強化

学校

- ・興味のある学生(摂南大学/学部/ゼミ/サークル/社会人大学生)に声をかけ、みんなの知恵を活かす
- ・中学生を地域の担い手にする



情報発信

情報発信力が必要

- ・広報や「もっと寝屋川」で周知
- ・SNS(Twitter等)を利用/発信し、知ってもらうきっかけにする

地域

- ・地域協働協議会で課題解決
- ・周辺都市
- ・公園、教育、環境などの関連部局
- ・周辺自治体に声をかける
- ・まちの先生の登録者に声をかける

管理

- ・管理人のもとで一括管理する
- ・市民活動コーディネーターの相談窓口
- ・運営管理の関係団体のまとめをする

仕組みをつくる



やりたい人が集まれる場所、機会をつくる

- ・年2~3回で公園愛護会のつどい
- ・治水緑地公園サポーターを結成
- ・ワークショップ参加者が各々2名連れてくる
- ・フェスタや環境のネットワーク
- ・観光協会のような組織の結成
- ・やりたい人が集まるシステムづくり
- ・市民や企業などのトライアル事業の募集

アドプト制度

- ・地域ごとに分担し、維持管理に協力する